

令和7年度木材利用促進月間（10月） の取組について

令和7年12月1日

林野庁

2025年木材利用促進月間における取組実績について

主務省（農林水産省、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省）、地方公共団体や企業・団体と連携し、木の良さを体感するイベントや、木材利用の意義に関する情報発信等を行い、木材利用促進に向けた国民運動を展開。

主務省連携

（農林水産省、総務省、文部科学省、経済産業省、国土交通省、環境省）

- ・木材利用促進月間を周知するプレスリリース発出
- ・大臣会見でのPR
- ・林野庁HPでの国・地方自治体に係るイベントの公表
- ・月間ポスターの掲示

木づかいシンポジウム2025 in 万博の開催

令和7年9月23日、大阪・関西万博会場内において、「木づかいシンポジウム2025in万博」を開催。会場参加以外にもライブ配信。木造・木質建築の最新動向や店舗への木材活用の取組、木質素材の技術開発の事例を交え、木材利用の可能性について紹介。

主催：林野庁

後援：総務省、文部科学省、
経済産業省、国土交通省、
環境省、国際博覧会推進本部



登壇者一同



木づかいシンポジウム会場の様子

各種イベント・特設サイト等での情報発信

○国産木材の利用拡大を目的とした普及啓発の一環として、広く一般消費者を対象とした展示、情報発信を実施。



農林水産省「消費者の部屋」展示



政府広報「日曜まなびより」ラジオ放送

○大手ショッピングサイトにおいて、木材利用の意義の情報発信と共に国産木材を使った製品の特集ページを運用。また、国産木材の製品を取り入れた宿泊施設を設置し、木製品の良さ等について発信。

運営：楽天グループ（株）



ウッド・チェンジ特設サイト



Wood Change コラボルームの展開

建築物木材利用促進協定の推進



10月31日、農林水産省と（株）長谷工コーポレーションは、国との協定として27件目となる建築物木材利用促進協定を締結。

協定締結お披露目式の様子

農林水産省による様々な情報発信の取組

大阪・関西万博における木材製品等の展示

万博会場内フューチャーライフヴィレッジにおいて、木材利用のアイディアや先進的な実例の展示等を通じ、日本の木の文化・木のデザイン、利用方法を国内外に発信した。展示作品は、ウッドデザイン賞2023・ウッドデザイン賞2024の大阪・関西万博特別賞受賞作品を中心に紹介とともに、「木と暮らす」「木を聴く」「木で味わう」といった来場者の五感を刺激する体験型の展示を実施。



ウッド・チェンジマークと展示物



展示物で子どもが遊ぶ様子



展示全体の様子

東京メトロ改札口ビジョンの月間広報

東京メトロ改札口ビジョンにおいて、木材利用促進月間の広報映像を2週間放映。

(東京、大手町、霞が関、池袋、新宿三丁目、三越前の6駅)



情報誌「林野」の10月号特集

10月号において「木育」に関する民間の取組を特集記事で紹介するとともに、大阪・関西万博での展示の様子も報告。



BUZZ MAFFからの発信

農林水産省公式YouTube【BUZZ MAFF】にて、職員が大阪・関西万博での林野庁展示を取材し、木材製品等の魅力を紹介する動画を公開。



懸垂幕、のぼりの掲揚

10月の木材利用促進月間をPRするため、農林水産省外壁へ懸垂幕の掲揚及び各玄関への「のぼり」の設置を実施。



ウッド・チェンジ協議会の取組

ウッド・チェンジ協議会会員による取組

ウッド・チェンジ協議会（会長：東京海上日動火災保険株式会社
隅相談役）の会員は、10月を中心に木材利用や木造化に関する
イベントを全国各地で主催。

オンライン

住友林業株式会社
ウェビナー開催

『エンボディドカーボン算定への第一歩
～先進企業が語る、One Click LCAの活用事例～』

公益社団法人日本建築士会連合会
第6・7回建築士会全国大会 おおさか大会
「建築からソーシャルデザインへ」

一般社団法人日本ウッドデザイン協会
WOOD DESIGN EXPERIENCE @福岡

株式会社セブン-イレブン・ジャパン
[RKBカラフルフェス2024]での木育
『2025年10月にも実施予定』

株式会社シェルター
若草町医療ビルプロジェクト完成見学会

ライフデザイン・カバヤ株式会社
大宮区大門町5階建テナントビル
完成見学会

東急建設株式会社
ビジネスEXPO
「第39回北海道 技術・ビジネス交流会」

国立研究開発法人
森林研究・整備機構 森林総合研究所
2025年度 森林総合研究所公開講演会
「2050年の森：人口減少社会において
森林の果たす役割とは」

一般社団法人全国木材組合連合会
木材利用推進コンクール表彰式

みなと森と水ネットワーク会議
普及促進イベント：ちいき百貨+2025

みなと森と水ネットワーク会議
普及促進イベント：みなと森と水サミット2025

公益社団法人国際観光施設協会
ホテル都市分科会主催 木づかい事例見学会

住友林業株式会社
グリーンビルディングジャパン（GBL）
シンポジウム出展

ナイス株式会社
木と暮らしの博覧会

株式会社シェルター
Under 35 Architects exhibition 2025 (U-35展)
ギャラリーエベント「都市（まち）に森をつくる」
-木を活用した建築の最新プロジェクト紹介-

銘建工業株式会社
日本木工機械展2025

ウッド・チェンジ協議会の 開催



隅 修三 ウッド・チェンジ協議会会長

10月3日、ウッド・チェンジ協議会本会合を開催し、木材利用促進月間における国等の取組予定及び会員団体・企業における取組について紹介。

また、協議会の小グループでの検討状況について事務局から説明し、意見交換を実施。



表彰の実施－1

ウッドデザイン賞（10月入賞発表、11月上位賞発表、12月表彰式）

主催：（一社）日本ウッドデザイン協会

農林水産大臣賞

2025年日本国際博覧会 大屋根リング

（大阪府大阪市）

株式会社大林組、株式会社竹中工務店、清水建設株式会社、藤本壯介
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会、東畠・梓 設計共同企業体



内周直径約616m、円周約2kmにわたる圧倒的なスケールの世界最大の木造建築物として、ギネス記録に認定されるなど、万博来場者のみならず広く国内外に日本の木の文化と技を発信。

経済産業大臣賞

ヤマト本社ビルA棟・B棟

（東京都中央区）

日建設計・鹿島建設設計共同体、ヤマトホールディングス株式会社、
鹿島建設株式会社



床・天井のレベルが段階的に変化する木質の段床空間と、場所ごとに用途が変わる木質の造作家具を組み合わせることで、多様な働き方に応じた居場所を提供。

国土交通大臣賞

エバーフィールド木材加工場

（熊本県上益城郡甲佐町）

小川次郎／アトリエ・シムサ + 小林靖／kittan studio + 池田聖太/3916
株式会社エバーフィールド、山田憲明構造設計事務所、小国町森林組合
株式会社興和産業、ランバー宮崎協同組合



小国杉を使い、材長4m以下の小中径製材が互いに支え合う「木造レシプロカル構造」により、斬新な木造無柱空間を実現。

環境大臣賞

美郷町カヌー艇庫 カヌーパークみさと カヌーレIMAI

（島根県美郷町）

STUDIO YY



江川水系県立自然公園内に位置し、地元中・高生のカヌー部の部室として使用されるほか、大学の合宿地として招致にも成功。木造建築の認知度向上、自然公園来訪にも貢献する施設。

表彰の実施ー2

木材利用推進コンクール 10月28日表彰式

主催：木材利用推進中央協議会（（一社）全国木材組合連合会）

内閣総理大臣賞 NISHIGAWA TERRACE (岡山県岡山市)

施主：有限会社ティーハウス
設計：竹下和宏建築設計事務所
株式会社木下洋介構造計画
施工：株式会社ミナモト建築工房

低層商業施設において、準耐火構造による木材現しの空間を創出。木材の調達、部材生産、建設まで地域内で担うことができるモデルタイプとなることに期待。



農林水産大臣賞 パッシブタウン第5街区 (富山県黒部市)

施主：YKK不動産株式会社
設計：Hermann Kaufmann Architekten+
株式会社竹中工務店
施工：株式会社竹中工務店

富山県の森林組合と連携し、木材調達体制を構築。オーストリアの木造建築家と竹中工務店が共同設計し、日本の風土に合った木造化・木質化に取り組んだ、中高層集合住宅の優良事例。



文部科学大臣賞 六戸町立義務教育学校六戸学園 (青森県上北郡六戸町)

施主：六戸町
設計：株式会社八洲建築設計事務所
施工：日本国土開発株式会社 東北支店
株式会社佐藤建設工業、株式会社中屋敷建設



川上から川下の連携による地域材調達体制を構築し、構造躯体に県産材を84%使用。ヒバ材を多用した温かい内装などにより木の温もりあふれる快適な学習環境を提供。

国土交通大臣賞 CREVAおおくま (福島県双葉郡大熊町)

施主：大熊町
設計：清水建設・関・空間設計
特定建設工事共同企業体
施工：清水建設株式会社



福島県大熊町にオフィス及び交流のための複合施設として整備。県産材と鉄骨を組み合わせた大空間を設け、誰もが自分の居場所と感じられる温かい印象の交流の場を創出。

環境大臣賞 自然循環型CLT&ZEBオフィスビル (兵庫県姫路市)

施主：山陽建設株式会社
設計：前川建設株式会社
施工：前川建設株式会社



太陽光や太陽熱など自然エネルギーを活かすとともに、施工から運用まで建物の環境負荷を最大限に低減し、完全ZEBを達成した次世代のモデルとなるCLT建築。

（以上、優良施設部門より）

地方公共団体による取組

やまがたウッド・フェスティバル2025 (第33回山形県林業まつり) 庄内森とみどりのフェスティバル2025 (山形県)



10月18、19日「やまがたウッド・フェスティバル2025（第33回山形県林業まつり）」において、木製品の展示・販売や木工体験、きのこなどの販売を実施し、約6,000人が参加。

10月18、19日、11月3日には「庄内森とみどりのフェスティバル2025」を鶴岡市と酒田市の二会場で開催し、約3.3万人が参加。

ウッドワンダーランド2025 (愛知県)



10月4、5日の2日間にかけて子供から大人まで楽しめる木材の展示・体験イベント「ウッドワンダーランド2025」を開催。

県産木材をはじめとした地域産木材を扱う企業・団体等による木材製品の販売や木製遊具の展示、木工ワークショップなどを行い、5,816人が参加。

ながの森林・林業フェア2025 (長野県)



10月18日「ながの森林・林業フェア2025」において、ミニイスづくり、マイ箸づくりのワークショップやクップ、ツリークライミングのアクティビティ等を茶臼山動物園（長野市）で実施し、約2,900人が参加。

令和7年度 フクモクフェス (福井県)



「みんなでつかおう『ふくいの木』促進条例」に基づき、「フクモクフェス」を9月13、14日に「福井県産業会館」で開催。福井の木を使った巨大なジャングルジムなど、1000種類以上の木のおもちゃで遊べる木育広場、ワークショップ等を展開し、約1.4万人が参加。

くまもと森林フェスティバル (熊本県)



「木材炭素貯蔵量 認証書」交付式

11月15、16日、熊本市中心部において「くまもと森林フェスティバル」を初めて開催。森林・林業・木材産業の魅力を来場者約3.3万人に発信。併せて、今年度、新たに県が創設した「くまもと県産木材炭素貯蔵量認証制度」に基づく認証書交付式を開催。